

今月の連載関連本



仮病の見抜きかた

國松淳和＝著

本体 2,200 円＋税／四六判・254 頁／金原出版／2019

不明熱や不定愁訴など一筋縄ではいかない臨床問題に取っ組んできた気鋭の医師が、10 の短編小説を書いた。フィクションだが、患者と医師のやりとりは、むしろリアルだ。登場人物の誰かは、あなたの患者に、あなた自身に似ているかもしれない。科学論文には意識的・無意識的に書き洩らされてきた臨床の妙が鮮やかに描かれている。あくまで「医学書」を名乗るにふさわしく、確かな医学的解説のみならず、明日の臨床に役立つ示唆にあふれる 1 冊。

本書は、決して「患者の嘘を暴く方法」を指南するものではない。「患者さんの中で何が起きているのか」「患者さんは何に困っているのか」を、そして「医師であること」をもっとよく知るための本である。